

# ビワ生育情報

第 7 報  
千葉県農林水産部  
令和 8 年 4 月号

4月1日時点の幼果の発育は、「楠」、「田中」で平年よりやや早く、「大房」は平年並みです。今後の気象条件にも左右されますが、収穫期は平年並みからやや早まると予想されます。

## 果実の発育

4月1日現在のビワの果径を表1に示した。

横径は「楠」が1.75cm、「大房」、「田中」は3地区平均でそれぞれ1.59cm、1.61cmであった。平年比は「楠」108%、「大房」100%、「田中」101%であった。

縦径は「楠」が2.14cm、「大房」、「田中」は3地区平均でそれぞれ2.01cm、2.19cmであった。平年比は「楠」106%、「大房」102%、「田中」108%であった。

果形指数は「楠」が0.82、「大房」、「田中」は3地区平均でそれぞれ0.79、0.74であった。本年の果形は「楠」、「大房」は平年並み、「田中」はやや縦長の傾向がみられる。

果実の発育は、「楠」、「田中」で平年よりやや早く、「大房」は平年並みで推移している。今後の気象条件にも左右されるが、収穫期は平年並みからやや早まると予想される（各品種における平年値（平成7年～令和6年）は前年の7月号を参照）。

表1 果実の発育（4月1日の果径）

品種	調査地点	横径 (cm)			縦径 (cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	暖地園研	1.75	1.62	1.58	2.14	2.02	1.95	0.82	0.80	0.81
	青木	1.62	1.60	1.15	2.04	1.98	1.44	0.79	0.80	0.80
	南無谷	1.54	1.67	1.39	1.92	2.06	1.70	0.80	0.80	0.81
	平均	1.59	1.59	1.32	2.01	1.98	1.64	0.79	0.80	0.80
大房	暖地園研	1.60	1.55	1.42	2.05	1.95	1.78	0.78	0.79	0.79
	青木	1.45	1.59	1.20	2.03	2.00	1.61	0.72	0.79	0.75
	南無谷	1.58	1.62	1.64	2.14	2.09	1.96	0.74	0.78	0.84
	平均	1.61	1.59	1.46	2.19	2.02	1.83	0.74	0.79	0.80
田中	暖地園研	1.81	1.58	1.55	2.39	2.02	1.92	0.76	0.78	0.81
	青木	1.45	1.59	1.20	2.03	2.00	1.61	0.72	0.79	0.75
	南無谷	1.58	1.62	1.64	2.14	2.09	1.96	0.74	0.78	0.84
	平均	1.61	1.59	1.46	2.19	2.02	1.83	0.74	0.79	0.80

果形指数：横径／縦径

平年：平成8年～令和7年の30年間の平均

南無谷は平成10年～令和7年の28年間の平均、なお、令和8年から調査圃場を変更

## 令和8年3月の気象

令和8年3月の半旬別の気象を表2に示した。平均気温は第1、第4～第6半旬は平年より高く、第2半旬は平年並み、第3半旬は平年より低かった。月平均気温は11.1℃で、平年より1.0℃高く、前年より0.3℃低かった。

月最低極温は第3半旬の-0.9℃で、氷点下日数は1日であった。

降水量は第1半旬は平年より多く、第5、第6半旬は平年並み、第2～第4半旬は平年より少なかった。月合計は157.0mmで平年の101%、前年の64%であった。

日照時間は第2、第3、第5半旬は平年より多く、第1、第6半旬平年並み、第4半旬は平年より少なかった。月合計は176時間で平年の105%、前年の97%であった。

表2 令和8年3月の気象(アメダス館山市)

半旬	平均気温 (°C)			氷点下日数 (日)			最低極温 (°C)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	11.0	8.6	9.6	0	0.5	0	4.4	0.7	2.6
2	9.3	9.2	7.4	0	0.6	1	2.2	1.0	-0.2
3	8.1	9.7	12.6	1	0.5	0	-0.9	0.4	4.4
4	12.3	10.4	8.7	0	0.1	0	4.9	2.3	0.3
5	11.4	10.9	15.8	0	0.2	0	4.4	2.4	1.7
6	14.8	11.6	14.1	0	0.2	0	8.4	2.7	5.2
平均/計/最小値	11.1	10.1	11.4	1	2.1	1	-0.9	0.4	-0.2

半旬	降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	86.0	25	54.0	26	26	20
2	5.5	24	7.0	35	27	32
3	0.0	22	99.0	39	28	17
4	6.5	23	53.5	10	27	35
5	24.0	27	0.0	34	27	49
6	35.0	33	31.0	32	33	29
計	157.0	155	244.5	176	167	182

平 年：平成3～令和2年の30年間の平均

最低極温：各半旬あるいは3月中に記録した最低気温

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある

### 5月の作業

収穫前にモノレールや道路を整備するとともに、園内の草を刈り、収穫道具や出荷資材をあらかじめ準備しておく。1樹の収穫は2～3回に分け、収穫適期の果実を収穫する。特に初回の収穫では、未熟果が混入しないよう果皮色を十分確認する。

果樹カメムシ類の予想発生量は中発生とされている（令和7年度病害虫発生情報 第4号）。カメムシ類の飛来量や時期は地域やほ場によって異なるため、飛来が増える4月下旬以降は園内外をこまめに見回り、発生が確認された場合は、千葉県農作物病害虫雑草防除指針に従って防除を行う。

### 台木の養成

ビワの苗木は、生産量が少ないので、自家生産に取り組む。収穫した果実から種子を採取して播種し、台木用の実生苗を確保する。「楠」の実生は生長が早く、根張りが良いため台木に適している。接ぎ木を行う場合は、2～3年間養成し、幹が直径約1.5cmとなった台木を用いる。実生苗は、降雨によりごま色斑点病が伝搬して多発し、枯死することがあるため、雨よけ施設で管理する。

発行：千葉県農林水産部生産振興課園芸振興室

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所特産果樹研究室

電話 0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>